

実務経験のある教員等による授業科目一覧【理学療法学科】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
人間発達学	2	松田大輔		
臨床心理学	2	手嶋雄太		
基礎栄養学	1	長江紀子		
リハビリテーション医学	1	清水圭悟		
精神医学	1	手嶋雄太		
リハビリテーション概論	2	清水圭悟		
保健医療福祉制度論	2	萩井剛士		
理学療法概論Ⅰ	2	今村啓太		
理学療法概論Ⅱ	2	中山大貴		
理学療法管理学	2	永野 忍		
理学療法評価法Ⅰ	2	野口 敦	今村啓太	
理学療法評価法Ⅱ	2	野口 敦	清水圭悟	
日常生活活動	2	永野 忍		
運動療法Ⅰ	2	野口 敦	清水圭悟	綿谷昌明
運動療法Ⅱ	2	清水圭悟	野口 敦	
物理療法	2	岩田芳典		
義肢装具学	2	遠藤正英		
各論理学療法Ⅰ	1	中山大貴		
各論理学療法Ⅱ	1	中山大貴		
各論理学療法Ⅲ	1	近藤直樹	阿部光司	東 周平
		進 貴臣	永野 忍	
各論理学療法Ⅳ	1	森口晃一		
各論理学療法Ⅴ	1	森口晃一		
各論理学療法Ⅵ	1	松田大輔		
各論理学療法Ⅶ	1	今村啓太		
各論理学療法Ⅷ	1	今村啓太		
各論理学療法Ⅸ	1	中山大貴		
総合理学療法	4	松田大輔	清水圭悟	
基礎医学演習	2	今村啓太	永野 忍	
臨床医学演習	2	永野 忍	今村啓太	
基礎理学療法演習	2	今村啓太	永野 忍	
臨床理学療法演習	2	今村啓太	永野 忍	
スポーツリハビリテーション	1	宮藺彩香		
地域理学療法学	2	萩井剛士		
生活環境論	1	永野 忍		
見学実習	1	中山大貴		
評価実習	4	松田大輔		
総合臨床実習	18	今村啓太		
合 計	74			

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 3年度 PT学科					
	○											
授業科目名	人文科学 I					担当者名		井浦 ひとみ、松田 大輔				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	前半は社会人としての「仕事の取組み・ビジネスマナー・就業のマナー」について勉強します。後半は「自己紹介と自己PR」、「学生個人資料」を発表することや、ジャーナルを閲覧し、文章の構成内容を考え、グループワークすることで、これからの学生生活に必要な「考え・書く・意見を述べる」ことについて学びます。											
成績評価	授業で出す課題の内容評価、定期試験（後半は除外）などによって総合的に評価する。											
その他	井浦ひとみ、松田大輔（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	なし		
参考図書			

回数	授業計画
1	第1章 キャリアと豊かな仕事生活 1-1 働くということ（プリント1枚）
2	1-2 仕事への取り組み方 第2章 ビジネスマナーの基本2-1 ビジネスマナーは社会人としての基本（プリント1枚）
3	2-1 ビジネスマナーは社会人としての基本③より 2-2 職場でのコミュニケーション
4	第3章 就業のマナー 3-1 出社から退社まで 2-3 円滑なコミュニケーションのために2-4 社会人としての身だしなみ（プリント1枚）
5	第1章・第2章 模擬テスト 第3章 就業マナー 3-2 仕事での態度や行動（プリント1枚）
6	3-3 感じのよいあいさつ 3-4 おじぎの基本とお客様との接し方（プリント1枚）
7	第3章 模擬テスト 第9章 来客対応と面談の基本マナー 9-2 出迎えから見送りまで 9-4 名刺交換と紹介（プリント1枚）
8	9-4 名刺交換と紹介 第10章 訪問のマナー10-3 取引先とのつきあい 10-4 仕事関係とのつきあい（プリント1枚）
9	1. 臨床実習について（実習のイメージづくり）
10	2. 臨床実習における患者さんとスタッフの方との関係構築について
11	3. 実習関係書類の説明および「学生個人資料」の作成
12	4. グループワーク「学生個人資料」の発表
13	5. ジャーナル（雑誌）の閲覧と発表準備（グループワーク）
14	6. ジャーナル（雑誌）閲覧後の全体グループ発表
15	7. ケースレポートについて まとめ 感想文を書きましょう

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
	○			令和 3年度	PT学科						
授業科目名	人文科学Ⅱ			担当者名	中林 紘二						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	1	1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	Officeの主要3ソフト（Word・Excel・PowerPoint）を学習する。特に、理学療法業務で頻繁に使うことになるであろう基本的な機能・使い方を中心に解説する。また、練習問題などを用いて、学習内容を復習することで、操作方法を確実にマスターする。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	中林紘二（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	特になし		
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション Wordの概要 文字の入力
2	Word 文章の作成
3	Word 表の作成
4	Word 表現力の向上
5	Excel データ入力
6	Excel 表の作成
7	Excel グラフの作成
8	Excel 複数シートの操作
9	Powerpoint 基本的なプレゼンテーションの作成
10	Powerpoint 表の作成
11	Powerpoint グラフの作成
12	Powerpoint 図形、SmartArt、画像、ワードアート
13	Powerpoint 特殊効果
14	発表資料作成
15	発表

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
	○			令和 3年度	PT学科						
授業科目名	自然科学 I			担当者名	松田 大輔						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	1	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1	1				30					
授業概要	理学療法の専門科目を学習する上で有用な基礎学力の習得を目標に、人体作用に物理学的の内容を講義する。また自然科学的な現象から物理的な見方を授業する。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	松田大輔（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	特になし(教員が資料を作成し配布します)		
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	時間と空間、身体運動の面と軸、運動学的分析、筋の活動張力
2	重力、筋と重力の働き、ベクトル、力の合成と分解、力のつり合い、作用反作用の法則
3	電流、電圧、抵抗、電力、オームの法則、直流と交流、電波
4	波、波の重ね合わせの原理、波の干渉、音波、音の三要素、音の速さ、ドップラー効果
5	光、光の速さ、光と音の違い、光の反射、光の散乱、太陽の色が異なる理由
6	レンズと光、焦点、眼球の外膜、屈折と調節、水晶体での遠近調節、目でピントが合う範囲
7	遠くを見る眼と近くを見る眼、近視と近視の矯正、遠視と遠視の矯正、老視
8	浮力、摩擦力、関節の構造、剛体、力のモーメント、剛体に働く力のつり合い、てこの原理、重心
9	ヒトの重心、重心線、立位姿勢の安定性、安定性に関わる要因
10	運動の法則、運動の第2法則、運動に関する3つの法則、エネルギー
11	エネルギー代謝、カーボローディング、クレアチンリン酸系、解糖系、好氣的代謝系、骨格筋の運動エネルギー
12	熱エネルギー、温度と熱、熱量保存の法則、熱と分子運動、熱の移動と物質の温度変化、物質の熱特性、比熱、熱容量、熱伝導率
13	細胞、原核細胞と真核細胞の違い、細菌とウイルスの違い、細胞の基本構造
14	三角関数
15	三角関数練習問題

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
	○			令和 3年度	PT学科						
授業科目名	自然科学Ⅱ			担当者名	中林 紘二						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	1	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数						30					
授業概要	理学療法士として必要な統計学の基礎を、さまざまなデータを用いて学ぶ。また、専門書や論文に示されたデータを用いて、そのデータが示す意味が読み取れるようになる。実際の研究論文から、その作成の手順や考え方を学ぶ。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	中林紘二（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	特になし		
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	①オリエンテーション ②科学的な理学療法とは
2	エビデンスレベル（EBMの手順）・ガイドラインの活用について
3	感度、特異度、陽性尤度比について
4	研究の種類について（記述研究、横断研究）
5	研究の種類について（ケースコントロール研究、コホート研究）
6	研究の種類について（ランダム化比較対照試験、システマティックレビュー）
7	統計の基礎（母集団、平均、分散）
8	統計の基礎（標準偏差、信頼区間）
9	統計の基礎（相関関係、回帰分析）
10	統計の基礎（効果量）
11	統計の基礎（尺度）
12	研究の基礎（バイアス、ブラインド）
13	研究の基礎（平均の差の検定、t検定、分散分析）
14	研究の応用（第1種の過誤、第2種の過誤、帰無仮説）
15	国家試験問題の解説・まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
	○			令和 3年度		PT学科					
授業科目名	保健体育理論 I			担当者名		得本 啓次					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本講義は生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格取得を目指す。										
成績評価	レポート30%、試験70%										
その他	得本啓次（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	改訂版 生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人国際学園
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	スポーツと社会環境 1) ガイダンス, 2) 生涯スポーツトレーナーとは 【動画:水嶋理事長】, 3) 生涯トレーナー概論(教本) 4/14
2	スポーツ心理学① 1) 脳トレ①マインドセット 4/21
3	スポーツ心理学② 1) 脳トレ②イメージの力のトレーニング 4/28
4	スポーツ心理学③ 1) 脳トレ③未来をイメージする 5/12
5	スポーツ心理学④ 1) ロジックブレインについて 5/19
6	スポーツ心理学⑤ 1) ロジックブレインについて② 5/26
7	スポーツ心理学⑥ 1) ロジックブレインについて②6/2
8	スポーツ医学①1) e-learning, 人体の区分と名称, 関節運動2) 解剖生理学(教本)3) 骨の役割, 骨の構造, 筋の分類, 骨格筋4) 骨と関節のしくみとはたらき(教本) 6/9
9	スポーツ医学②1) e-learning, 筋収縮のメカニズム①②(8分)(6分), 2) 筋肉のしくみとはたらき(教本) 6/16
10	スポーツトレーナー学①1) e-learning「スポーツ」「運動」の必要性(7分), ファンクショナルトレーニングとは(14分), 正しい姿勢とプランク(24分) 6/23
11	スポーツトレーナー学②1) e-learning, 基礎動作の重要性上肢と下肢の動き2) 発達障害と不器用さ3) 全身を運動させた回旋運動, プログラミングの重要性, 運動指導6/30
12	指導方法1) e-learning子ども、高齢者運動指導の基礎知識と運動指導, 2) 児童期の運動指導, 3) 高齢者の身体とトレーニング, 4) 子供の身体とトレーニング(教本) 7/7
13	栄養学 1) 栄養素の基礎知識、2) 身体づくりと栄養 7/14
14	関係法規 1) e-learning医療行為と医療類似行為(11分), 禁止事項(11分), 2) 用語解説(教本) 7/21
15	まとめ 7/28

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
	○			令和 3年度	PT学科						
授業科目名	保健体育理論Ⅱ			担当者名	得本 啓次						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これからの健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本授業は主に実技指導を中心に行う。生涯スポーツトレーナー（アドバンス）の資格取得を目指す										
成績評価	レポート提出で評価する。										
その他	得本啓次（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生涯スポーツトレーナー教本 背骨コンディショニング 世界一わかりやすいパーソナルストレッチ 背骨コンディショニング パーソナル		
参考図書	Tボールティーチャー指導教本		

回数	授業計画		
1	スポーツと社会環境	ガイダンス（受講上の注意等）、生涯スポーツトレーナーアドバンスについて	9/15
2	スポーツ心理学①	背骨コンディショニング 基礎理論	9/22
3	スポーツ心理学②	背骨コンディショニング アライメントチェック、体操	9/29
4	スポーツ心理学③	パーソナルストレッチ シェイキング（上半身、下半身）	10/6
5	スポーツ心理学④	パーソナルストレッチ ムービング（上半身、下半身）	10/13
6	スポーツ心理学⑤	発育発達と不器用さ 理解と指導上の留意点	10/20
7	スポーツ心理学⑥	発育発達と不器用さ 感覚・運動機能の臨床観察法	10/27
8	スポーツ医学①	（Tボール）実技 捕る投げる打つの基礎動作	10/30
9	スポーツ医学②	（Tボール）実技 ゲーム形式練習	10/30
10	スポーツトレーナー学①	高齢者と子どもの運動指導 高齢者に必要な運動・指導	12/15
11	スポーツトレーナー学②	高齢者と子どもの運動指導 年齢に合った運動選択と指導	12/22
12	指導方法	ファンクショナルトレーニング 日常で出来る運動	1/5
13	栄養学	ファンクショナルトレーニング 7つ基礎動作（プランク、プル、プッシュ、ヒンジ、スクワット、ランジ、ローテーション）	1/12
14	関係法規	（Tボール）講義 概論、必要性、魅力	1/19
15	総括	（Tボール）講義 ルール、審判方法、運営方法、指導法	1/26

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
	○			令和 3年度	PT学科						
授業科目名	外国語			担当者名	中山 大貴						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	リハビリテーション領域で主に用いられる英単語を理解と生活活動での英文（one point）に関心を持ちながら、英語力を身につける。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	中山大貴（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	なし		
参考図書	PT・OTが書いた リハビリテーション英会話	三木 貴弘著	MEDICAL VIEW

回数	授 業 計 画
1	人体の部位
2	人体の方向・人体の面
3	骨格（上肢）の名称
4	骨格（下肢）の名称
5	骨格（脊椎・胸郭）の名称
6	関節の名称（上肢）
7	関節の名称（下肢）
8	関節可動域運動の専門的な表現と一般的な表現（上肢）
9	関節可動域運動の専門的な表現と一般的な表現（下肢）
10	関節可動域運動の専門的な表現と一般的な表現（体幹）
11	体位（姿勢）の表現
12	歩行動作の表現
13	リハビリテーション機器の表現 1) 2)
14	リハビリテーション機器の表現 3) 4) 5)
15	主な骨格筋（前面）の名称 主な骨格筋（後面）の名称

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	解剖学 I			担当者名	清水 圭悟、松田 大輔				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
						60			
授業概要	ヒトの働きと構造を総合的・体系的に理解させるため、人間も含めた生物体の構造を細胞レベル、組織、器官さらには系統レベルで進める。また生命現象を理解するための考え方、基本的学術用語とヒトについて理解を深める。ヒトの身体の仕組みと、これがどのようにして働いているかを論述する。								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	清水圭悟、松田大輔（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	プロメテウス解剖学コアアトラス 第3版	坂井 建雄監訳	医学書院
参考図書			

回数	授業計画
1	総論 1. 解剖学とは 2. 人体の外形と部位 3. 体の方向用語 (松田)
2	総論 4. 男女の差 5. 体腔 6. 体部の形態に関する名称 (清水)
3	骨格系 (総論) 1. 骨の働き 2. 骨の形状 (松田)
4	総論 7. 細胞と組織 (清水)
5	骨格系 (総論) 3. 骨の構成 4. 骨の連結 5. 関節の分類 (松田)
6	総論 7. 細胞と組織 (清水)
7	骨格系 (総論) 6. 関節運動の方向づけ 7. 関節可動域 (松田)
8	総論 8. 器官と器官系 9. 発生とは 10. 胚葉の分化 (清水)
9	骨格系 (頭蓋骨) 1. 頭頂部 2. 後頭部骨格系 3. 側頭部 4. 前頭部と顔面部 5. 内頭蓋底 6. 内頭蓋底 (松田)
10	筋系 (総論) 1. 骨格筋の構造 2. 腱 (清水)
11	骨格系 (頭蓋骨) 7. 舌骨 8. 下顎骨 (松田)
12	筋系 (各論) 1. 背部筋 2. 頭部の筋 (清水)
13	骨格系 (椎骨) 1. 真椎の一般構成 2. 頸椎 (松田)
14	筋系 (総論) 3. 頸部の筋 4. 胸部の筋 (清水)
15	骨格系 (椎骨) 3. 胸椎 5. 腰椎 (松田)
16	【中間試験】筋系 (総論) 5. 横隔膜 6. 腹部の筋 (清水)

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	解剖学Ⅱ			担当者名	岩田 芳典				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							60		
授業概要	人体標本と触診やデッサンによって内臓器系他の構造や位置関係を確認し、理学療法の学問構想に関連づけて学習する。								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	岩田芳典（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	プロメテウス解剖学コアアトラス 第3版	坂井 建雄監訳	医学書院
参考図書			

回数	授業計画
1	循環系（総論）1. 循環（大循環／小循環）2. 血管の構造3. 動脈 4. 静脈 5. 毛細血管 6. 特殊な血管 7. 毛細血管のはたらき
2	循環系（心臓）1. 外観・位置 2. 心臓の内腔 3. 心臓の弁装置 4. 心臓壁の構成
3	循環系（心臓）5. 刺激伝導系 6. 心臓の神経支配 7. 心臓周期・心音） 8. 胎児循環の特徴 9. 先天性心疾患
4	循環系（体循環・肺循環） 1. 循環器系 2. 小循環（肺循環） 3. 大循環（体循環）
5	循環系（リンパ）1. 毛細リンパ管 2. リンパ管 3. リンパ組織とリンパ器官
6	消化器系（総論）1. 消化器の一般構造 2. 消化管に分布する神経
7	消化器系（各論1）1. 口腔 2. 咽頭 3. 扁桃輪 4. 食道 5. 胃 6. 小腸
8	消化器系（各論1）7. 大腸 8. 直腸 9. 排便メカニズム
9	消化器系（各論2）1. 膵臓 2. 胆嚢 3. 胆道 4. 肝臓
10	消化器系（各論2）5. 腹膜 6. 腹膜後器官 7. 栄養素とその働き
11	呼吸器系 1. 鼻 2. 咽頭 3. 喉頭 4. 気管と気管支 5. 肺
12	呼吸器系 6. 胸膜 7. 縦隔
13	泌尿器系 1. 腎臓の位置と形状 2. 腎臓の実質 3. 腎臓の構造
14	泌尿器系 4. 尿生成のしくみ 5. 尿管 6. 膀胱 7. 尿道
15	泌尿器系 8. 排泄について【中間試験】
16	内分泌器系 1. 内分泌とは 2. ホルモンと標的器官 3. 内分泌腺の種類1) 視床下部2) 下垂体

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	生理学 I			担当者名	今村 啓太				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
						60			
授業概要	ヒトが生活する中で生物機能（生体の機能）が発揮される仕組みを理解する。								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	今村啓太（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準生理学	小澤滯司監修	医学書院
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション 生理学の概要
2	大脳の統合機能
3	大脳皮質の機能局在
4	循環系の基本的性質
5	血液循環
6	心臓の働き
7	呼吸生理学の基礎、肺の換気①
8	肺循環
9	呼吸生理学の基礎、肺の換気②
10	肺の換気
11	肺循環とガス交換
12	血液ガスの運搬
13	酸塩基平衡の基本概念
14	呼吸の調節、呼吸の適応と病態
15	腎臓生理学の基礎
16	糸球体濾過と腎循環、有機物質の尿細管再吸収と分泌

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	生理学Ⅱ			担当者名	今村 啓太				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							60		
授業概要	ヒトが生活する中で生物機能（生体の機能）が発揮される仕組みを理解する。								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	今村啓太（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準生理学	小澤滯司監修	医学書院
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	細胞・生体とその環境
2	細胞の微細構造と機能
3	血液の組成と性状
4	血液細胞の産生
5	赤血球、鉄の代謝
6	白血球
7	免疫反応と炎症
8	血小板と血液凝固機能、血液型
9	大脳皮質運動野
10	大脳基底核
11	小脳 発声と構音
12	運動と体力
13	脳幹
14	脊髄
15	神経細胞学 神経回路機能
16	興奮の伝達 自律神経系

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	運動学 I			担当者名	中島 喜代彦				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
						60			
授業概要	(1)骨・筋・関節の構造と機能を理解する (2)骨や筋の名称およびその役割を理解する (3)生体力学からみた関節運動を理解する (4)背髄レベルの神経と筋の関連を理解する (5)歩行ならびに姿勢制御の概要を理解する								
成績評価	中間試験および期末試験の結果をもとに総合的に評価する								
その他	中島喜代彦（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	プロメテウス解剖学コアアトラス 第3版	坂井健雄 監訳	医学書院
参考図書	(教科書として使用する) PT・OTのための運動学ノート/基礎運動学 第6版補訂	中島喜代彦、中島雅美/中村隆一	医歯薬出版

回数	授 業 計 画
1	総論：(1)運動学とは (2)身体に働く種々の力 (3)人体の区分 (4)身体の面と軸
2	(5)骨および関節の名称：骨標本使用 (6)関節の運動方向
3	骨学総論：(1)骨の形態 (2)骨の基本構造
4	関節総論：(1)関節の分類とその特徴 (2)滑膜性関節の構造と構成体
5	骨学各論：(1)脊柱
6	骨学各論：(1)胸郭 (2)頭蓋
7	骨学各論：(1)肩甲帯 (2)上肢骨
8	骨学各論：(1)骨盤帯 (2)下肢骨
9	骨の指標に関する触察実習：Tシャツおよび短パンの服装
10	筋学総論：(1)筋の形状 (2)骨格筋の構造 (3)骨格筋の収縮機序
11	筋学総論：(1)筋と支配神経 (2)筋の起始と停止 (3)筋収縮様態
12	筋学各論：肩甲帯から肩関節
13	筋学各論：肘関節から手指
14	筋学各論：骨盤帯から股関節及び膝関節
15	筋学各論：足関節から足趾
16	筋学各論：体幹筋

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
		○		令和 3年度	PT学科						
授業科目名	運動学Ⅱ			担当者名	中島 喜代彦						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						60					
授業概要	(1) 各関節の構造と機能について説明ができる。 (2) 各関節の安定性と運動性について説明ができる。										
成績評価	中間試験および期末試験の結果をもとに総合的に評価する										
その他	中島喜代彦（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	運動器の機能解剖 上肢・脊柱編/下肢編	J. Castaing, J. J. Santini 共著	協同医書
参考図書	(教科書として使用する) 基礎運動学 第6版補訂 /PT・OTのための運動学ノート	中村隆一/中島喜代彦、中島雅美	医歯薬出版

回数	授業計画
1	肩関節複合体：(1)基本概念 (2)機能的肢位 (3)肩の運動の定義と運動域
2	肩甲上腕機構：(1)肩甲上腕関節の構造 (2)腱板の安定化作用 (3)三角筋と棘上筋の共同作用
3	肩甲上腕機構：(4)肩の第2関節 (5)運動筋 (6)可動域
4	肩甲胸郭機構：(1)胸郭上を動く肩甲骨 (2)胸鎖関節 (3)肩鎖関節 (4)肩の2大機構による自動運動
5	肘関節：(1)基本概念 (2)腕尺関節 (3)腕橈関節 (4)関節包と靭帯 (5)関節の運動と可動域 (6)運動筋
6	前腕：(1)基本概念 (2)回内・回外機構の分析 (3)回内・回外機構の他動的要素 (4)回内・回外運動軸と運動筋
7	前腕：(1)日常生活活動における回内・回外 手関節：(1)基本概念 (2)関節形態と靭帯 (3)動きと筋
8	手指：(1)基本概念 (2)解剖学的名称 (3)関節形態と靭帯
9	手指：(4)運動の定義と可動域 (5)外来筋と内在筋の関係 (6)腱鞘 (7)屈筋機構と伸展機構の概略
10	手指：(8)伸展機構による指の伸展 (9)支靭帯による運動作用 (10)解放された指 (11)虫様筋 (12)爪の役割
11	脊柱：(1)基本概念 (2)椎骨の基本形態 (3)椎骨の部位別形態
12	脊柱：(4)脊椎の機能的単位 (5)椎間板—椎体複合体 (6)椎骨の誘導要素
13	脊柱：(7)椎骨の制動要素 (8)脊柱の運動筋と安定筋
14	脊柱：(9)脊柱の彎曲の成り立ち (10)脊柱の可動性
15	脊柱：(11)脊柱に加わる力 (12)脊柱管と椎間孔 (14)椎体の血管分布 (15)脊柱の退化
16	まとめと中間試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	人間発達学			担当者名	松田 大輔				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							30		
授業概要	胎児期から新生児期、乳児期、学童期から、青年期、老年期に至るまでの、身体的な発育・発達及び精神的な発達を学び、それぞれの時期の発達の特徴を体系的に理解する。また、発育・発達に関する因子と発達理論及び発達評価法の概略を学ぶ。								
成績評価	普通の授業で出す課題の内容評価、学習意欲、学習態度、出席率などによって総合的に評価する。								
その他	松田大輔（病院理学療法科において理学療法士として勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	イラストでわかる人間発達学		医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	運動機能（粗大運動、微細運動）の発達と評価と成長、認知、社会性、情緒の発達と評価を理解する。1
2	運動機能（粗大運動、微細運動）の発達と評価と成長、認知、社会性、情緒の発達と評価を理解する。2
3	運動機能（粗大運動、微細運動）の発達と評価と成長、認知、社会性、情緒の発達と評価を理解する。3
4	胎児期からの循環系の発達と出生後の呼吸循環機能の加齢による推移を学ぶ。1
5	胎児期からの循環系の発達と出生後の呼吸循環機能の加齢による推移を学ぶ。2
6	血液像、栄養所要量、消化機能及び腎臓機能の変化について新生児期から青年期までの推移を理解する。思春期から青年期における精神面の発達とその特徴を学ぶ。1
7	血液像、栄養所要量、消化機能及び腎臓機能の変化について新生児期から青年期までの推移を理解する。思春期から青年期における精神面の発達とその特徴を学ぶ。2
8	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達の正常運動発達を学ぶ。1 【中間試験】
9	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達の正常運動発達を学ぶ。2
10	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達の正常運動発達を学ぶ。3
11	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達の正常運動発達を学ぶ。4
12	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達で脳神経の発達と反射の発達を学ぶ。1
13	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達で脳神経の発達と反射の発達を学ぶ。2
14	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達で脳神経の発達と反射の発達を学ぶ。3
15	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達で脳神経の発達と反射の発達を学ぶ。4

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
		○		令和 3年度	PT学科						
授業科目名	臨床心理学			担当者名	手嶋 雄太						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	1	1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	心理学とは何か考えるところから始め、近年では、心の問題のみならず、身体疾患に関連する問題の解決のためにも心理学的知識が重要であるため、発達段階での問題から臨床で起こりうる問題を例示しながら、リハビリテーション心理学に関する理論と共に、その理論に基づくアセスメント方法や介入法について学ぶことを目的とする。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	手嶋雄太（病院作業療法科において作業療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	よくわかる臨床心理学 改訂新版	下山晴彦 編	ミネルバ書房
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	臨床心理学とは 1) 正常と異常
2	臨床心理学とは 2) 適応と不適応
3	臨床心理学の周辺の理論 1) 性格の構造及び類型論、特性論
4	臨床心理学の周辺の理論 2) 心の発達
5	心の問題 1) 乳幼児期、児童期、思春期、成人期
6	心の問題 2) 成人期以降
7	心理アセスメント 1) 心理検査法 「質問紙法」
8	心理アセスメント 2) 心理検査法 「投影法」
9	心理アセスメント 3) 心理検査法 「作業検査法、知能検査」
10	心理アセスメント 4) 観察法、面接法、他児童心理アセスメント
11	心理的問題に対するアプローチ 1) 様々な心理療法：精神分析療法、来談者中心療法、行動療法、交流分析、他
12	心理的問題に対するアプローチ 2) 家族療法、認知療法 他
13	心理療法におけるカウンセラーとクライアント 1) 心理療法の効果
14	心理療法におけるカウンセラーとクライアント 2) 良好な関係作り
15	まとめ 心理学 国家試験過去問題の傾向と対策

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
		○		令和 3年度	PT学科						
授業科目名	病理学			担当者名	今村 啓太						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	病気の原因を理解するために、病理学を学ぶ。特に総論をしっかりと学習することで、各疾患についての概要を捉えることに役立てていく。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	今村啓太（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 病理学 第4版	奈良勲 鎌倉矩子 編集	医学書院
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション 病理学の概要
2	病因論 退行性病変（変性、萎縮、細胞死）
3	進行性病変（肥大、過形成、化成、再生と創傷治癒）
4	代謝障害（タンパク質代謝異常、核酸代謝異常、脂質代謝異常）
5	代謝障害（糖質代謝異常） 循環障害（充血、うっ血、出血）
6	循環障害（血栓、塞栓、梗塞、高血圧症、門脈圧亢進症）
7	免疫（因子と細胞、免疫の成立）
8	免疫反応がもたらす傷害・疾患
9	炎症
10	感染症
11	腫瘍（生物学的特徴、組織形態）
12	腫瘍（進展形式） 老化
13	先天異常
14	各論 循環器疾患、神経系疾患など
15	各論 呼吸器疾患、消化器疾患など

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	整形外科学 I			担当者名	岩田 芳典				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							30		
授業概要	整形外科の科学基礎から骨・軟骨・靭帯・腱の損傷修復と再生、診断総論としての検査（徒手検査法、レントゲン、MRI、骨シンチなど）、治療総論としての保存療法と手術療法、疾患総論としての軟部組織・骨・関節の感染症、関節リウマチとその類縁疾患、慢性関節疾患（退行性、代謝性）、四肢循環障害と阻血壊死性疾患、先天性骨系統・代謝性骨疾患、先天異常症候群、骨・軟部腫瘍、神経・筋疾患について学習する。								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	岩田芳典（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準整形外科学 第12版	中村利孝・松野丈夫	医学書院
参考図書			

回数	授業計画
1	整形外科の基礎科学：骨・軟骨・靭帯・腱の損傷修復と再生1.
2	整形外科の基礎科学：骨・軟骨・靭帯・腱の損傷修復と再生2.
3	整形外科診断総論：主訴・主症状からの想定すべき疾患、整形外科的現症の取り方
4	整形外科診断総論：検査（画像検査・検体検査・生体検査）
5	整形外科治療総論：保存療法と手術療法1.
6	整形外科治療総論：保存療法と手術療法2.
7	整形外科疾患総論1：軟部組織・骨・関節の感染症
8	整形外科疾患総論2：関節リウマチとその類縁疾患
9	整形外科疾患総論3：慢性関節疾患（退行性、代謝性）
10	整形外科疾患総論4：四肢循環障害と阻血壊死性疾患
11	整形外科疾患総論5：先天性骨系統疾患、先天異常症候群
12	整形外科疾患総論6：代謝性骨疾患
13	整形外科疾患総論7：骨腫瘍
14	整形外科疾患総論8：軟部腫瘍
15	整形外科疾患総論9：神経疾患、筋疾患

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
		○		令和 3年度	PT学科						
授業科目名	整形外科学Ⅱ			担当者名	岩田 芳典						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	整形外科1の基礎から、外傷学として外傷総論、軟部組織損傷、骨折・脱臼、脊椎損傷、末梢神経損傷について学習する。										
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。										
その他	岩田芳典（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準整形外科学 第12版	中村利孝・松野丈夫・井樋栄二他	医学書院
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	整形外科疾患各論1（肩関節）機能解剖、診察・検査、疾患
2	整形外科疾患各論2（肘関節）機能解剖、診察・検査、疾患
3	整形外科疾患各論3（手関節と手）機能解剖、診察・検査、疾患
4	整形外科疾患各論4（頸椎）機能解剖、診察・検査、疾患
5	整形外科疾患各論5（胸郭）機能解剖、診察・検査、疾患
6	整形外科疾患各論6（胸腰椎）機能解剖、診察・検査、疾患
7	整形外科疾患各論7（股関節）機能解剖、診察・検査、疾患
8	整形外科疾患各論8（膝関節）機能解剖、診察・検査、疾患
9	整形外科疾患各論9（足関節と足）機能解剖、診察・検査、疾患
10	整形外科外傷1 総論、軟部組織損傷
11	整形外科外傷2 骨折・脱臼
12	整形外科外傷3 骨折・脱臼
13	整形外科外傷4 骨折・脱臼
14	整形外科外傷6 脊椎損傷
15	整形外科外傷7 末梢神経損傷

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
		○		令和 3年度	PT学科						
授業科目名	神経内科学 I			担当者名	中山 大貴						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	神経疾患がリハビリテーションの中で占める割合は大きく、解剖と機能の面から神経症候学の特徴を整理し、神経疾患に対して興味を持って臨床の場に向かわせたい。										
成績評価	出席状況・授業への参加意欲や態度、提出物、定期試験を総合的に評価する。										
その他	中山大貴（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学		医学書院
参考図書			

回数	授業計画
1	総論（神経内科学とは、勉強の進め方、神経症候）
2	脳血管障害（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1）
3	脳血管障害（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2）
4	脳血管障害（病態と画像所見の統合）3）
5	変性疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1）
6	変性疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2）
7	変性疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）3）
8	脱髄疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1）
9	脱髄疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2）
10	末梢神経障害（ニューロパチー）（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1）
11	末梢神経障害（ニューロパチー）（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2）
12	神経筋接合部疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1）
13	神経筋接合部疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2）
14	筋疾患（ミオパチー）（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1）
15	筋疾患（ミオパチー）（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	神経内科学Ⅱ			担当者名	中山 大貴				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							30		
授業概要	神経疾患がリハビリテーションの中で占める割合は大きく、解剖と機能の面から神経症候学の特徴を整理し、神経疾患に対して興味を持って臨床の場に向かわせたい。								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	中山大貴（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学		医学書院
参考図書			

回数	授業計画
1	腫瘍（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
2	腫瘍関連の国家試験問題
3	脊髄疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
4	脊髄疾患の国家試験問題
5	感染性疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
6	感染性疾患の国家試験問題
7	先天異常、脳性麻痺（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
8	先天異常、脳性麻痺の国家試験問題
9	代謝、中毒性疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
10	代謝、中毒性疾患の国家試験問題
11	外傷（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
12	外傷の国家試験問題
13	自律神経疾患、機能的疾患、視覚・聴覚障害、認知疾患
14	国家試験問題
15	国家試験問題とまとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	内科学			担当者名	野口 敦				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							30		
授業概要	全身的な内科疾患を伴った患者（理学療法対象者）のニーズに対応できる能力を養う。国家試験に出題頻度の高い主な内科疾患では、病態生理、症状、症候、診断等について幅広く学ぶ。								
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価、学習意欲、学習態度、出席率、定期試験などによって総合的に評価する。								
その他	野口敦（実務経験なし）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学	監修：奈良 勲／鎌倉 矩子他	医学書院
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	1. 全身状態 1) バイタルサイン
2	1. 全身状態 2) 栄養状態 3) 皮膚（褥瘡を含む）
3	2. 症候 1) 胸痛（腹部痛）2) 呼吸困難・呼吸異常
4	2. 症候 3) 喀血・吐血 4) 動悸・心悸亢進
5	2. 症候 5) チアノーゼ 6) ショック 7) 浮腫
6	2. 症候 8) 発熱 9) 全身倦怠感 10) 食欲不振・食思不振 11) 悪心・嘔吐 12) 腹痛
7	2. 症候 13) 易感染性 14) 意識障害 15) めまい 16) 頭痛 17) けいれん
8	3. 各論 1) 電解質異常
9	3. 各論 2) 腎・泌尿器疾患 3) 血液・造血器疾患
10	3. 各論 4) 内分泌疾患-----（生理学の基礎が重要）
11	3. 各論 5) 感染症
12	3. 各論 6) 消化器疾患
13	3. 各論 7) アレルギー疾患・膠原病
14	3. 各論 8) 腫瘍（癌）-----（病理学の基礎が重要）
15	まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
		○		令和 3年度	PT学科						
授業科目名	老年医学			担当者名	永野 忍						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	<p>老年期にみられる障害の特性を理解するために老化のメカニズムや生理学的特性、老年期の心理、老化に伴う生活機能の変化、高齢者を取りまく地域の問題など幅広く学習する。また、老化に伴い特徴的に現れる疾患・障害とその病態についても学習する。 その理解の下、治療手技を習得する。</p>										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	永野忍（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野老年学	奈良 勲	医学書院
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	総論 骨運動器疾患①（骨粗鬆症・骨折・変形性関節症・関節リウマチ・後縦靭帯骨化症）
2	骨運動器疾患② 発表
3	骨運動器疾患③ 発表
4	神経疾患①（慢性硬膜下血腫・心原性脳梗塞・多発性ラクナ梗塞・パーキンソン病・血管障害性パーキンソンニズム・末梢神経障害）
5	神経疾患② 発表
6	神経疾患③ 発表
7	呼吸器疾患①（誤嚥性肺炎・COPD・間質性肺炎・呼吸器感染症）
8	呼吸器疾患② 発表
9	呼吸器疾患③ 発表
10	循環器疾患①（血圧異常・不整脈・虚血性心疾患・心不全）
11	循環器疾患② 発表
12	循環器疾患③ 発表
13	老年症候群①（認知症・フレイル・尿失禁・サルコペニア・低栄養・廃用症候群）
14	老年症候群② 発表
15	老年症候群③ 発表

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	リハビリテーション医学			担当者名	清水 圭悟				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							30		
授業概要	リハビリテーション医学では、まず、基礎となる学問体系を概説し、次に、対象となる脳や脊髄の損傷・障害、神経・筋疾患、発達障害、切断、関節リウマチを含む骨・関節疾患、各種内部疾患などに対する診断や治療の進め方を解説する。								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	清水圭悟（病院理学療法科において理学療法士として勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	なし		
参考図書	リハビリテーション医学 第3版	土肥信之	医歯薬出版

回数	授業計画
1	脳血管障害および脳の疾患、脳性麻痺および小児疾患、脊髄損傷、二分脊椎、神経・筋疾患のリハビリテーションについて1)
2	脳血管障害および脳の疾患、脳性麻痺および小児疾患、脊髄損傷、二分脊椎、神経・筋疾患のリハビリテーションについて2)
3	関節リウマチ・膠原病、骨関節疾患のリハビリテーションについて1)
4	関節リウマチ・膠原病、骨関節疾患のリハビリテーションについて2)
5	切断と義肢のリハビリテーションについて1)
6	切断と義肢のリハビリテーションについて2)
7	循環器疾患、呼吸器疾患のリハビリテーションについて1)
8	循環器疾患、呼吸器疾患のリハビリテーションについて2)
9	糖尿病と肥満、末梢血行不全のリハビリテーションについて1)
10	糖尿病と肥満、末梢血行不全のリハビリテーションについて2)
11	疼痛性疾患、老化と障害、その他の疾患（悪性腫瘍・熱傷）のリハビリテーションについて1)
12	疼痛性疾患、老化と障害、その他の疾患（悪性腫瘍・熱傷）のリハビリテーションについて2)
13	合併症（1）廃用性症候群（2）過用症候群（3）褥瘡（4）肩手症候群（5）異所性骨化のリハビリテーションについて--1)
14	合併症（1）廃用性症候群（2）過用症候群（3）褥瘡（4）肩手症候群（5）異所性骨化のリハビリテーションについて--2)
15	合併症（1）廃用性症候群（2）過用症候群（3）褥瘡（4）肩手症候群（5）異所性骨化のリハビリテーションについて--2)

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
		○		令和 3年度	PT学科						
授業科目名	精神医学			担当者名	手嶋 雄太						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	専門基礎である精神医学の理解に努め、臨床及び国家試験で問われる精神疾患の知識の獲得を主な目的とする。精神医学の概要から各論の各疾患の知識、及び精神分野の評価や治療、福祉などについて学び、精神疾患に対する理学療法を説明できることを目的とする										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	手嶋雄太（病院作業療法科において作業療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 精神医学	上野 武治 編集	医学書院
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	1. 精神医学とは 2. 正常と異常 ※3代疾患：統合失調症、うつ病、躁病の紹介
2	3. 精神障害の障害と分類 1) WHO 国際疾病分類 ICD-10 2) 米国精神医学会分類 DSM-5
3	4. 精神機能の障害と症状 異常精神徴候（異常）1) 知覚の異常
4	4. 精神機能の障害と症状 異常精神徴候（異常）2) 記憶の異常 3) 思考の異常 4) 知能の異常
5	4. 精神機能の障害と症状 異常精神徴候（異常）5) 感情の異常 6) 意欲の異常 7) 自我意識の異常
6	4. 精神機能の障害と症状 異常精神徴候（異常）8) 意識の異常 9) 巢症状(局所徴候)
7	4. 精神機能の障害と症状 異常精神徴候（異常）10) 妄想
8	前半のまとめ
9	精神科評価 1) 身体的検索など
10	精神科評価 2) 実技：BGT、三宅式記憶力検査など
11	精神科評価 3) 実技：バウムテスト 症状性精神障害、心身症、コンサルテーション・リエゾン精神医学
12	統合失調症、感情障害（うつ病、躁病）
13	器質性精神障害（認知症）、てんかん
14	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害
15	アルコール疾患、薬物、他 まとめ 国家試験過去問題の傾向と対策

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	リハビリテーション概論			担当者名	清水 圭悟				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
						30			
授業概要	リハビリテーションの定義、特殊性、歴史、障害論、医療チームにおける役割や関連職や社会的位置付けや医療専門職として必要な職業意識や倫理観を学ぶ。								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	清水圭悟（病院理学療法科において理学療法士として勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	なし		
参考図書	入門 リハビリテーション概論 第7版	中村隆一・佐直信彦 編	医歯薬出版

回数	授 業 計 画
1	1. リハビリテーション医学の定義
2	2. 障害
3	3. リハビリテーション医学とは
4	4. リハビリテーションの歴史
5	5. 国際障害分類
6	6. リハビリテーション医療関連職
7	7. 老化現象・高齢者
8	8. 廃用症候群①
9	9. 問題点を中心としたカルテ記載法
10	10. 社会資源と社会保障 1) 社会資源資源
11	10. 社会資源と社会保障 2) 社会保障
12	10. 社会資源と社会保障 3) 法律
13	11. ノーマライゼーション、ユニバーサルデザイン 1) ノーマライゼーション 2) ユニバーサルデザイン
14	12. インフォームド・コンセント インフォームド・コンセントとは
15	13. 地域包括ケアシステムについて

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
		○		令和 3年度	PT学科				
授業科目名	保健医療福祉制度論			担当者名	靱井 剛士				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							30		
授業概要	1 保健医療福祉のシステムについて説明できる 2 わが国における医療供給体制と医療保障制度について説明できる								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	靱井剛士（病院作業療法科において作業療法士として勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	わかりやすい公衆衛生学		ヌーヴェルヒロカワ
参考図書			

回数	授業計画
1	1社会の変化と保健医療福祉 【人口動態, 疾病罹患動態, 保健医療福祉制度, 歴史, 法律】
2	2保健医療福祉制度の現状と改革の動向 【保健医療福祉システム, 国, 自治体, 行政施策, 改革動向】
3	3医療保険制度 【医療保障, 医療保険, 保険料, 後期高齢者医療制度, 診療報酬制度, 国民医療費】
4	4介護保険制度 【介護保障, 介護保険, 介護認定, 介護保険料, 介護資源, ケア計画】
5	5医療福祉とソーシャルワーク 【ソーシャルワーク, ケースワーク, アドヴォカシー, 当事者主義, 地域生活支援, 地域福祉資源】
6	6障害者における地域生活支援, 支援モデルと多職種連携 【地域生活支援, 障害構造, エンパワメント, 医学モデル, 生活モデル, 社会モデル, 自立支援法】
7	7慢性疾患・難病患者における地域生活支援 【地域生活支援, リハビリテーション, 心理, 家族】
8	8高齢者の地域生活支援(1) 【加齢による生活障害, ロコモティブシンドローム, 廃用症候群, 認知症】
9	9高齢者の地域生活支援(2) 【介護, 介護支援, 家族, 介護負担, ケアマネジメント, ケアマネージャー】
10	10高齢者の地域生活支援(3) 【訪問リハビリテーション, 通所リハビリテーション, 入所リハビリテーション, 医学的リハビリテーション, ショートスティ】
11	11精神保健と精神障害 【精神保健施策, 精神疾患, 精神障害, 精神障害者支援, リカバリー, ケアマネジメント】
12	12ターミナルケアと医療福祉 【ターミナルケア, 緩和ケア, 全人的アプローチ, 死】
13	13小児関連の保健医療福祉 【母子保健, 子育て支援, 発達障害, 教育, ハビリテーション】
14	14保健予防・健康増進 【健康, 疾病, ライフスタイル】
15	15保健予防・健康増進 【社会, Q.O.L 寿命, 活動能力, 生活体力】

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	理学療法概論 I				担当者名	今村 啓太					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	理学療法および理学療法士への理解を深めることを目標に以下の内容について学ぶ。 ①理学療法の歴史や定義を通して、我が国における理学療法の概要を理解する。 ②理学療法とリハビリテーションとの関連を説明できる。 ③理学療法士の役割や業務内容を理解する。 ④我が国における医療保険ならび介護保険制度などの社会保障制度について理解を深める。										
成績評価	筆記試験・レポートにより評価する。										
その他	今村啓太（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	理学療法概論テキスト改訂2版	中島喜代彦/森田正治/久保田章仁	南江堂
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション なぜ理学療法士を目指そうと思ったか（グループ討議）
2	理学療法の歴史と定義
3	世界の理学療法の定義：英語の辞書持参
4	理学療法とリハビリテーション：リハビリテーションとは ノーマライゼーション リハビリテーションの種類
5	理学療法を構成する各種技術
6	医療場面での理学療法の実際：特に評価に意義
7	理学療法を構成する各種技術（物理療法）物理療法機器の操作・体験
8	理学療法を構成する各種技術（運動療法①）各種運動療法機器の操作・体験
9	理学療法を構成する各種技術（運動療法②）腰痛体操などの各種体操の実践
10	理学療法を構成する各種技術（日常生活活動訓練）各種機器の操作・使用体験
11	理学療法を構成する各種技術（補装具）と環境整備
12	クリニカルパスについて 診療ガイドラインについて
13	理学療法と障害：障害の医学モデルならびに社会モデル 国際障害分類から国際生活機能分類へ
14	国際生活機能分類 (ICF) と理学療法士
15	理学療法士の使命と倫理

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和 3年度	PT学科						
授業科目名	理学療法概論Ⅱ			担当者名	中山 大貴						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	1	1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	理学療法および理学療法士への理解を深めることを目標に以下の内容について学ぶ。①理学療法士の活躍の場を理解する。②理学療法士に関する法律を知る。③理学療法士教育の現状を、諸外国との比較を通して理解する。④理学療法の研究法について理解を深める。⑤理学療法士に必要な管理運営を知る。										
成績評価	フィールドワークの発表および筆記試験により評価する。										
その他	中山大貴（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	理学療法概論テキスト改訂2版	中島喜代彦/森田正治/久保田章仁	南江堂
参考図書			

回数	授業計画
1	理学療法士の活躍の場：医療現場 保健・福祉現場 教育・研究現場 スポーツの場
2	理学療法士と診療報酬、求人票について
3	地域包括ケアと理学療法士
4	理学療法士及び作業療法士法
5	理学療法(士)と教育、研究
6	理学療法士に必要な管理や運営：医療保険と介護保険 診療報酬と介護報酬
7	理学療法士に必要な管理や運営：リスク管理
8	普通救命講習 松田
9	理学療法士と福祉用具・住宅改修
10	フィールドワーク①
11	フィールドワーク②
12	フィールドワーク③
13	フィールドワークの発表①
14	フィールドワークの発表②
15	福祉用具機器展への見学実習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	臨床運動学				担当者名	松田 大輔					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	理学療法の専門科目を学習する上で有用な基礎学力の習得を目標に、人体作用に物理学的の内容を講義する。また自然科学的な現象から物理的な見方を授業する。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	松田大輔（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	実践！動作分析	上杉雅之	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	1)力の合成と分解 2)テコ
2	3)重心の求め方 4)重心の速度・加速度
3	5)床反力と重心加速度 6)COP (Center of Pressure) 床反力作用点とは何か
4	姿勢1・2・3
5	歩行1【歩行とは・歩行周期・重心の移動・高さ】 歩行2【歩行の関節角度・歩行時の筋活動・歩行の5要素】
6	歩行3【下腿の歩行時の動き・筋活動のまとめ・歩行時の上肢の運動】 歩行4【床反力・歩行時のエネルギー代謝・小児/高齢者の歩行】 歩行5【年齢の違いによる歩行】
7	異常歩行1【異常歩行の原因（骨格系・筋系・神経系）、異常歩行の特徴、異常歩行の分類】
8	異常歩行2【歩行分析と臨床でのアプローチ】
9	7)立位・座位バランス・リーチ (NXPowerLite)
10	8)関節モーメント (NXPowerLite)
11	9)ジャンプ動作 (NXPowerLite)
12	10)立ち上がりのバイオメカニクス
13	11)歩き出しのバイオメカニクス
14	12)歩行のバイオメカニクス 1.歩行の観察 2.重心と床反力作用点
15	13)歩行のバイオメカニクス 3.衝撃吸収とアンクルロッカー 4.国家試験問題

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
	○			令和3年度	PT学科						
授業科目名	理学療法管理学			担当者名	永野 忍						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	医療・介護に関わる理学療法士として知らなくてはならない保健、医療、福祉に関する制度について理解を深め、さらに、制度のなかで理学療法士がより活躍できるようにするための政策提言などの方法についても理解する。										
成績評価	試験により評価する。										
その他	永野忍（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	理学療法管理学 良質な医療・介護提供のための管理運営・政策論	監修□植松光俊 編集□中川法一/田中昌史	南江堂
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	管理運営概論①
2	管理運営概論②
3	良質な医療の提供
4	臨床現場におけるデータ管理
5	ビッグデータと政策
6	医療・介護の制度と報酬
7	政策とその形成過程
8	医療・介護の財政および制度と保険点数
9	理学療法士の身分法とその職能団体
10	理学療法士の業務と政治活動の必要性
11	職域拡大とその背景
12	職域拡大の現状と方向性
13	取り巻く社会情勢に適した理学療法士へ
14	社会情勢を踏まえた未来への開拓
15	まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和 3年度	PT学科						
授業科目名	理学療法評価法 I			担当者名	野口 敦、今村 啓太						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1		1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						60					
授業概要	理学療法に必要な検査・測定のための目的や意義、方法について原則的な事項を学習し、各種疾患の評価方法の基礎知識と技術を学ぶ。評価の目的、情報の収集と分析、治療プログラム、到達ゴール等の評価の過程、評価の進め方と時期、評価の記録と報告、必要器具、評価実施上の留意点。四肢長、周径計測、関節可動域測定、反射検査、知覚検査などの講義を行う。										
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価、期末試験にて総合的に評価する。										
その他	野口敦、今村啓太（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	理学療法評価法 第3版		神陵文庫
参考図書	新・徒手筋力検査法 原著第10版	Helen J. Hislop, Dale Avers他	協同医書出版社

回数	授業計画
1	理学療法評価学総論（今村4月13日）
2	痛みの検査（痛みの定義、痛みの種類と特性、痛みの臨床的評価スケール）（野口 4月15日）
3	情報収集、医療面接【問診および医学的・社会的事項の情報収集の仕方】（今村4月20日）
4	痛みの検査（痛みの評価方法）（野口 4月22日）
5	ADLとは（今村4月27日）
6	関節可動域測定（総論）（野口 5月6日）
7	ADL評価（BI、FIM）（今村5月11日）
8	（実技）関節可動域測定（股関節）（野口5月13日）
9	“実技意識障害の診方【Japan Coma Scale, Glasgow Coma Scale】vital signの診方【Vital sign（脈拍、血圧、呼吸数・他）】①（実技）（今村 5月18日）
10	（実技）関節可動域測定（膝関節・足関節）（野口 5月20日）
11	vital signの診方【Vital sign（脈拍、血圧、呼吸数・他）】②（実技）（今村 5月25日）
12	（実技）関節可動域測定（手指・足趾）（野口 5月27日）
13	（実技）関節可動域測定（肩甲帯）（今村 6月1日）
14	（実技）関節可動域測定（体幹・手指）（野口 6月3日）
15	（実技）関節可動域測定（肩関節屈曲・伸展 外転・内転）（今村 6月8日）
16	（実技）関節可動域測定（体幹）（野口 6月10日）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
			○	令和 3年度	PT学科				
授業科目名	理学療法評価法Ⅱ			担当者名	野口 敦、清水 圭悟				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	1		1		授業時間数	前期	後期	前期	後期
							60		
授業概要	理学療法評価法で習得した各評価項目を実践できるようになることである。理学療法に必要な検査・測定について原則的な事項を学習し、各種疾患の評価方法の基礎知識と技術を学ぶ。評価の目的、情報の収集と分析、治療プログラム、到達ゴール等の評価の過程、評価の進め方と時期、評価の記録と報告、必要器具、評価実施上の留意点。四肢長、周径計測、関節可動域測定、反射検査、知覚検査などの実習を行う。								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	野口敦、清水圭悟（病院理学療法科において理学療法士として勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	理学療法評価法 第3版		神陵文庫
参考図書	新・徒手筋力検査法 原著第10版		協同医書

回数	授業計画
1	徒手筋力検査（MMT）（筋力とは、筋力測定の意義、MMTの目的、MMTの信憑性と妥当性、MMT実施上の留意点、MMTの結果に及ぼす因子）（清水 9月14日）
2	感覚検査の意義（感覚検査の目的、感覚検査から得られる情報、感覚検査の種類）（野口 9月16日）
3	MMT実技（股関節屈曲、股関節屈曲・外転・および膝関節屈曲位での外旋、股関節伸展）（清水 9月21日）
4	MMT実技（股関節外転、股関節屈曲位からの外転、股関節内転、外旋、股関節内旋、膝関節屈曲、伸展、足関節底屈）（清水 9月 28日）
5	感覚検査実技（記録法、感覚検査測定の実際、触覚・温度覚・痛覚検査）（野口 9月30日）
6	MMT実技（肩甲骨外転と上方回旋・挙上・内転・下制と内転）（清水 10月 5日）
7	感覚検査（深部感覚・位置覚感覚・運動覚・関節覚・複合感覚主な疾患の感覚障害）（野口 10月 7日）
8	MMT実技（肩甲骨外転と上方回旋・挙上・内転・下制と内転）（清水 10月12日）
9	痛みの検査（痛みの定義、痛みの種類と特性、痛みの臨床的評価スケール）（野口 10月 14日）
10	MMT実技（肩甲骨外転と上方回旋・挙上・内転・下制と内転）（清水 10月19日）
11	痛みの検査（痛みの評価方法）（野口 10月 21日）
12	MMT実技（肩甲骨内転と下方回旋・屈曲・伸展・肩甲骨面挙上・外転）（清水 10月26日）
13	協調性検査（協調性とは、協調性を支えるメカニズム、神経学的メカニズム、協調性の障害と症状、運動失調症の診わけ方）（野口 10月 28日）
14	MMT実技（肩関節水平外転・水平内転・外旋・内旋・肘関節屈曲）（清水 12月 7日）
15	協調性検査の実際（実技）四肢の一般的運動失調検査（野口 12月 9日）
16	MMT実技（肘関節伸展、前腕回外・回内）（清水 12月 14日）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校 令和 3年度 PT学科						
						担当者名		永野 忍			
授業科目名	日常生活活動				1年次		2年次		3年次		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1		1		授業時間数			60			
授業概要	リハビリテーションにおける日常生活活動の概念および基本的な考え方。ならびに日常生活活動の評価、基本動作訓練・指導を学ぶ。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	永野忍（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	理学療法学テキストⅤ 日常生活活動（ADL）第2版		神陵文庫
参考図書			

回数	授業計画
1	日常生活活動の概念と範囲、QOLの概念
2	ICFとは何か
3	ADLの種類・日常生活活動の運動学（基本動作）
4	ADLの種類・日常生活活動の運動学（食事動作）
5	ADLの種類・日常生活活動の運動学（排泄動作）
6	ADLの種類・日常生活活動の運動学（入浴動作）
7	ADLの種類・日常生活活動の運動学（整容・更衣動作）
8	移動補助具について（杖・松葉杖）
9	車いすについて
10	移乗動作について
11	移乗動作について（演習）
12	移乗動作について（演習）
13	評価の概念と目的（BI）
14	評価（FIM 他）
15	前半まとめ
16	腰痛症のADL

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	運動療法 I				担当者名	清水 圭悟、野口 敦、綿谷 昌明					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								60			
授業概要	基本となる障害（節可動域制限、筋力低下、痛み、感覚障害、協調性障害、運動障害、バランス障害、全身状態低下）のエビデンスを理解することを学ぶ。基本となる障害（節可動域制限、筋力低下、痛み、感覚障害、協調性障害、運動障害、バランス障害、姿勢障害、全身状態低下）に対する具体的な理学的アプローチのエビデンスを学び、その技法の理論を習得した運動療法2の延長から、技法の実践を学ぶ。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	野口敦、清水圭悟、綿谷昌明（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	運動療法学 第2版	市橋則明（編）	文光堂
参考図書			

回数	授業計画
1	ガイダンスおよび総論（野口 4月 15日）
2	徒手理学療法の理論と実践①（綿谷 4月 19日）
3	徒手理学療法の理論と実践②（綿谷 4月 19日）
4	運動療法の概念（野口 4月 22日）
5	徒手理学療法の理論と実践③（綿谷 4月 26日）
6	徒手理学療法の理論と実践④（綿谷 4月 26日）
7	筋力低下に対する運動療法の理論 ①（野口 5月6日）
8	徒手理学療法の理論と実践 ⑤（綿谷 5月 10日）
9	徒手理学療法の理論と実践 ⑥（綿谷 5月 10日）
10	痛みに対する運動療法の理論 ①（清水 5月11日）
11	筋力低下に対する運動療法の理論 ②（野口 5月13日）
12	筋力低下に対する運動療法の理論 ③（野口 5月20日）
13	徒手理学療法の理論と実践 ⑦（綿谷 5月 24日）
14	徒手理学療法の理論と実践 ⑧（綿谷 5月 24日）
15	痛みに対する運動療法の理論 ②（清水 5月25日）
16	筋力低下に対する運動療法 ①（野口 5月27日）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	運動療法Ⅱ				担当者名	清水 圭悟、野口 敦					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									60		
授業概要	基本となる障害に対する具体的な理学的アプローチのエビデンスを学び、その技法の理論を習得する。基本となる障害（節可動域制限、筋力低下、痛み、感覚障害、協調性障害、運動障害、バランス障害、姿勢障害、全身状態低下）に対する具体的な理学的アプローチのエビデンスを学び、その技法の理論を習得した運動療法2の延長から、技法の実践を学ぶ。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	野口敦、清水圭悟（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	運動療法学 第2版	市橋則明（編）	文光堂
参考図書			

回数	授業計画
1	バランス障害に対する運動療法の理論 ①（清水 9月13日）
2	運動麻痺に対する運動療法の理論 ①（野口 9月16日）
3	バランス障害に対する運動療法の理論 ②（清水 9月27日）
4	運動麻痺に対する運動療法の理論 ②（野口 9月30日）
5	バランス障害に対する運動療法の理論 ③（清水 10月 4日）
6	運動麻痺に対する運動療法の理論 ③（野口 10月 7日）
7	バランス障害に対する運動療法 ①（清水 10月11日）
8	協調性運動障害に対する運動療法の理論 ①（野口 10月 14日）
9	バランス障害に対する運動療法 ②（清水 10月18日）
10	協調性運動障害に対する運動療法の理論 ②（野口 10月21日）
11	姿勢障害に対する運動療法の理論 ①（清水 10月25日）
12	協調性運動障害に対する運動療法の理論 ③（野口 10月28日）
13	姿勢障害に対する運動療法の理論 ②（清水 12月 6日）
14	協調性運動障害に対する運動療法①（野口 12月9日）
15	姿勢障害に対する運動療法の理論 ③（清水 12月13日）
16	協調性運動障害に対する運動療法②（野口 12月16日）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和 3年度	PT学科						
授業科目名	物理療法			担当者名	岩田 芳典						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	1	1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30	30		
授業概要	物理療法は、熱、水、電気、光、徒手などの物理的エネルギーを人体に用いる治療法であり、患部の疼痛の緩和、循環の改善、リラクゼーションなどを目的としている。講義では物理的エネルギー（熱・水・持続的他動運動）と生体反応などに関して解説し、種々の物理療法機器の特性を理解できるように学ぶ。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	岩田芳典（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	エビデンスから身につける物理療法	庄本康治	羊土社
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション 物理療法学総論
2	炎症
3	組織修復
4	痛み 急性痛
5	痛み 慢性痛
6	温熱療法 総論
7	温熱療法 生理学的作用 適応と禁忌
8	温熱療法 ホットパック パラフィン浴
9	温熱療法 超短波 極超短波（実技）
10	超音波 総論
11	超音波 生理学的作用 適応と禁忌（実技）
12	寒冷療法 総論
13	寒冷療法 生理学的作用 適応と禁忌
14	寒冷療法 伝導冷却法 気化冷却法 極低温療法
15	前半まとめ
16	

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和 3年度	PT学科						
授業科目名	物理療法			担当者名	岩田 芳典						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	1	1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	物理療法は、熱、水、電気、光、徒手などの物理的エネルギーを人体に用いる治療法であり、患部の疼痛の緩和、循環の改善、リラクゼーションなどを目的としている。講義では物理的エネルギー（超音波・牽引・光・電気）と生体反応などに関して解説し、種々の物理療法機器の特性を理解できるように学ぶ。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	岩田芳典（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	エビデンスから身につける物理療法	庄本康治	羊土社
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	光線療法 総論 生理学的作用
2	光線療法 適応と禁忌
3	光線療法 赤外線、紫外線、レーザー
4	水治療法 総論 生理学的作用
5	水治療法 適応と禁忌 渦流浴 プール浴
6	電気刺激療法 総論 生理学的作用
7	電気刺激療法 目的と効果 適応と禁忌
8	電気刺激療法 治療的電気刺激療法（実技）
9	電気刺激療法 経皮的末梢神経電気刺激療法 干渉波電気刺激療法 機能的電気刺激療法
10	牽引療法 総論 生理学的作用 適応と禁忌
11	牽引療法 頸椎牽引と腰椎牽引
12	持続的他動運動療法
13	振動療法
14	国家試験出題問題
15	まとめ
16	

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	義肢装具学				担当者名	遠藤 正英					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								60			
授業概要	<p>義肢装具に関する基本的事項を学習し、特に装具の特性と構造を理解する。 義肢装具に関する基本的事項を学習し、特に装具の特性と構造を理解する。各切断レベルに対応する義足の適合判定と異常歩行を学習する。加えて断端管理法、義肢装着練習など切断リハビリテーションに関する知識を修得する。</p>										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	遠藤正英（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	義肢装具学 第2版	大峯三郎 橋元隆	神陵文庫
参考図書			

回数	授業計画
1	<ul style="list-style-type: none"> ・装具の定義と目的を理解する ・固定の原理を理解する
2	<ul style="list-style-type: none"> ・素材の違いを理解する ・装具の機能（遊動、制限、制動、補助）を理解する
3	<ul style="list-style-type: none"> ・上肢装具の分類を理解する ・指装具の使用目的と種類を理解する
4	<ul style="list-style-type: none"> ・対立装具の使用目的と種類を理解する ・手関節装具の使用目的と種類を理解する
5	<ul style="list-style-type: none"> ・把持装具の使用目的と種類を理解する ・肘装具、肩装具の使用目的と種類を理解する
6	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢装具を使用する目的を理解する ・下肢装具の分類を理解する
7	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢装具の適応を理解する ・下肢装具の部品、継手の位置を理解する
8	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹装具の目的と分類を理解する・頸椎装具、頸胸椎装具、胸腰仙椎装具、腰仙椎装具、仙腸装具の使用目的と構造を理解する
9	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中患者の特徴を理解する ・脳卒中患者の歩行と下肢装具での対応を理解する
10	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中患者の上肢の特徴を理解する ・脳卒中患者の肩装具、手関節装具、指装具、肘装具の使用目的と種類を理解する
11	<ul style="list-style-type: none"> ・脊髄損傷患者の体幹装具の特徴を理解する
12	<ul style="list-style-type: none"> ・脊髄損傷患者の上肢装具の特徴を理解する ・脊髄損傷患者の下肢装具の特徴を理解する
13	<ul style="list-style-type: none"> ・骨関節疾患患者の上肢の特徴を理解する ・骨関節疾患患者の下肢の特徴を理解する
14	<ul style="list-style-type: none"> ・脳性麻痺患者に対する装具の種類と使用目的を理解する ・側弯症患者に対する体幹装具の構造と使用目的を理解する
15	<ul style="list-style-type: none"> ・靴型装具の定義を理解する ・靴型装具の基本構造と分類を理解する
16	<ul style="list-style-type: none"> ・靴型装具の各種補正方法について理解する ・アーチの障害、糖尿病足、リウマチによる靴型装具の対応を理解する

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	各論理学療法 I				担当者名	中山 大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	神経系疾患における理学療法について、現在よく行われているいくつかの治療概念に触れ、その理論的背景について知る。また、評価と治療（脳血管障害・パーキンソン病）の進め方について学習する。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	中山大貴（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準理学療法学 神経理学療法学	吉尾雅春、森岡周	医学書院
参考図書			

回数	授業計画
1	脳神経疾患理学療法の脳神経科学の重要性と脳神経科学の理学療法への応用
2	脳血管障害の病態と症候
3	画像所見（頭部CTの見方）①
4	画像所見（頭部MRIの見方）②
5	画像所見（頭部MRIの見方）③
6	画像所見（頭部MRIと理学療法評価・治療の統合）④
7	脳血管障害の理学療法（急性期）
8	脳血管障害の理学療法（回復期）
9	脳血管障害の理学療法（慢性期）
10	高次脳機能障害（身体失認、病態失認）
11	高次脳機能障害（半側空間無視）
12	高次脳機能障害（注意・遂行機能障害）
13	高次脳機能障害（失行）
14	高次脳機能障害（まとめ）
15	症例検討

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	各論理学療法Ⅱ				担当者名	中山 大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	神経系疾患における理学療法について、現在よく行われているいくつかの治療概念に触れ、その理論的背景について知る。また、評価と治療（脊髄小脳変性症）の進め方について学習する。またボバース法、PNF法、CI療法、高次神経障害への理学療法、中枢疾患のリスク管理などについて、どのようなエビデンスに基づいて行われているのか最新の知見を交えて学ぶ。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	中山大貴（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準理学療法学 神経理学療法学	吉尾雅春、森岡周	医学書院
参考図書			

回数	授業計画
1	中枢疾患のリスク管理
2	運動麻痺の発生メカニズム
3	運動麻痺の理学療法評価
4	運動麻痺の理学療法の実際
5	感覚障害の神経機構と障害メカニズム
6	異常筋緊張（筋緊張の神経機構）
7	パーキンソン病の病態と症候
8	パーキンソン病の理学療法
9	脊髄小脳変性症の病態と症候
10	脊髄小脳変性症の理学療法
11	PBL：変性疾患の評価と理学療法（パーキンソン病）
12	PBL：変性疾患の評価と理学療法（脊髄小脳変性症）
13	PBL：神経筋疾患の理学療法（筋萎縮性側索硬化症）
14	PBL：神経筋疾患の理学療法（多発性硬化症）
15	PBL：経筋疾患の理学療法（Guillain-Barre症候群）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校 PT学科						
					令和 3年度						
授業科目名	各論理学療法Ⅲ				担当者名	近藤 直樹、阿部 光司、東 周平、進 貴臣、永野 忍					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	小児の運動機能障害が出現する代表的な疾患の症状の理解を踏まえ、その障害に特有な評価方法及び理学療法について学習する。										
成績評価	試験によって評価する										
その他	近藤直樹、阿部光司、東周平、進貴臣、永野忍（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	小児理学療法学テキスト 改訂第3版	田原弘幸	南江堂
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	発達障害系理学療法概論
2	脳性麻痺総論（定義、病型分類、麻痺部位、二次障害）
3	脳性麻痺の評価①
4	脳性麻痺の評価②
5	脳性麻痺各論（理学療法評価と治療/痙直型）
6	脳性麻痺各論（理学療法評価と治療/アテトーゼ型・失調）
7	前半まとめとテスト
8	小児整形外科治療における理学療法
9	小児理学療法における装具・補装具
10	重症心身障害児（者）の理学療法
11	小児整形外科疾患の理学療法（二分脊椎等）
12	小児神経筋疾患の理学療法（筋ジストロフィー）
13	小児神経筋疾患の理学療法（脊髄性筋萎縮症）
14	症例検討①
15	症例検討②

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
			○	令和 3年度	PT学科				
授業科目名	各論理学療法Ⅳ			担当者名	森口 晃一				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							30		
授業概要	整形外科疾患に対する理学療法評価の基本をしっかりと認識したのちに、骨軟骨障害や関節軟部組織障害ならびに関節構造に由来する障害に対する適切な理学療法の評価と治療を学習する。								
成績評価	出席状況・授業への参加意欲や態度、提出物、定期試験を総合的に評価する。								
その他	森口晃一（病院理学療法科において理学療法士として勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	運動器障害理学療法学テキスト	細田多穂（監）、高柳清美 他3名	南江堂
参考図書	標準整形外科学	松野丈夫、中村利孝	医学書院

回数	授 業 計 画
1	(1) 整形外科疾患とは (2) 整形外科疾患と障害 (3) 整形外科疾患と理学療法(評価と治療)
2	理学療法評価の流れ：(1) 処方吟味 (2) 情報収集 (3) 情報の分析・解釈・統合 (4) 課題の抽出
3	理学療法評価の流れ：(5) 目標設定 (6) 理学療法プログラムの立案 (7) 理学療法の実施 (8) 再評価
4	理学療法評価での情報集収：(1) 問診（既往歴・家族歴・職業歴・生活歴含め） (2) 視診/触診
5	理学療法評価での情報集収：(3) 四肢長・周径 (4) ROM検査 (5) 感覚検査 (6) 反射検査
6	理学療法評価での情報集収：(7) 筋力検査 (8) 痛みの検査 (9) 治療成績判定基準と機能評価法
7	骨・軟骨障害：(3) 変形性膝関節症（保存療法）1に対する理学療法
8	骨・軟骨障害：(3) 変形性膝関節症（保存療法）2に対する理学療法
9	中間試験とまとめ
10	骨・軟骨障害：(4) 変形性膝関節症（手術療法）に対する理学療法
11	骨・軟骨障害：(5) 変形性股関節症（保存療法）に対する理学療法
12	関節軟部組織性障害：(1) 膝関節の靭帯損傷・半月板損傷の理解と理学療法①
13	関節軟部組織性障害：(2) 膝関節の靭帯損傷・半月板損傷の理解と理学療法②
14	関節軟部組織性障害：(3) 足関節の靭帯損傷の理解と理学療法①
15	関節軟部組織性障害：(4) 足関節の靭帯損傷の理解と理学療法②

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和 3年度	PT学科						
授業科目名	各論理学療法Ⅴ				担当者名	森口 晃一					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	各論理学療法4（整形）に引き続き、整形外科疾患に対する理学療法評価の基本を認識しながら、骨性障害や筋・軟部組織性障害、ならびに運動単位性障害や脊椎障害、複合障害に対する適切な理学療法の評価と治療を学習する。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	森口晃一（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	運動器障害理学療法学テキスト	細田多穂（監）、高柳清美 他3名	南江堂
参考図書	標準整形外科学	標準整形外科学	医学書院

回数	授 業 計 画
1	骨性障害：(1)骨折総論と理学療法
2	骨性障害：(2)大腿骨頸部骨折，転子部骨折（術前・術後）に対する理学療法
3	骨性障害：(3)下肢骨折(大腿骨骨幹部・大腿骨遠位部・脛骨高原・膝蓋骨)に対する理学療法
4	骨性障害：(4)上肢骨折(上腕骨近位・上腕骨骨幹部・上腕遠位・コレス)に対する理学療法
5	骨性障害：(5)脊椎骨折（脱臼骨折・圧迫骨折）に対する理学療法
6	筋・軟部組織性障害：(1)テニス肘，野球肘，手根管症候群に対する理学療法
7	筋・軟部組織性障害：(2)肩関節周囲炎に対する理学療法
8	まとめ
9	筋・軟部組織性障害：(3)筋断裂・アキレス腱断裂標に対する理学療法
10	末梢神経障害：①橈骨神経麻痺 ②尺骨神経麻痺 ③正中神経麻痺 ④腕神経麻痺 ⑤腓骨神経麻痺に対する理学療法
11	脊椎性障害：頸椎椎間板ヘルニア，頸部脊柱管狭窄症に対する理学療法
12	脊椎性障害：急性腰痛・腰椎椎間板ヘルニア，腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法
13	複合障害：関節リウマチの理解と理学療法
14	症例検討（変形性関節症について）
15	症例検討（骨性障害について）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
			○	令和 3年度	PT学科				
授業科目名	各論理学療法Ⅶ			担当者名	今村 啓太				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							30		
授業概要	呼吸器の機能、呼吸リハビリテーションの必要な病態、対象疾患について学ぶ。呼吸機能の評価、呼吸障害のリハビリテーションについて学ぶ。運動療法、在宅酸素療法について学ぶ。疾患別呼吸リハビリテーションについて学ぶ。								
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。								
その他	今村啓太（病院理学療法科において理学療法士として勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 内部障害理学療法学（呼吸）	玉木 彰（編集）	中山書店
参考図書	病気がみえる4呼吸器	医療情報科学研究所	メディックメディア

回数	授 業 計 画
1	呼吸リハビリテーション総論
2	呼吸器系の解剖学・運動学
3	呼吸器系の生理学
4	呼吸不全の病態と呼吸器疾患
5	呼吸障害の評価（医療面接とフィジカルアセスメント）
6	呼吸障害の評価（その他の評価法）
7	呼吸理学療法基本手技（コンディショニング）
8	呼吸理学療法基本手技（排痰法・排痰で用いる徒手の手技） まとめ 中間試験
9	呼吸理学療法基本手技（呼吸困難改善の為の手技）
10	呼吸理学療法基本手技（運動療法）
11	酸素療法と呼吸理学療法
12	人工呼吸療法と呼吸理学療法
13	在宅酸素療法（目的、使用器具、ウィーニング）
14	疾患別呼吸理学療法（急性呼吸不全、慢性呼吸不全）
15	胸部画像の見方 喀痰の吸引

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	各論理学療法Ⅷ				担当者名	今村 啓太、大渡 凡人					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	循環器疾患の特徴・基礎にはじまり、理学療法を行う上での注意事項、実際の理学療法の進め方、運動療法の実際を学習する。それぞれの疾患において必要なスパイロメータや心電図の知識、リスク管理なども合わせて学ぶ。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	今村啓太（病院理学療法科において理学療法士として勤務）、大渡凡人（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新理学療法講座 内部障害理学療法学	高橋 哲也	医歯薬出版
参考図書	病気がみえるvol.2 循環器 第4版	医療情報科学研究所	医療情報科学研究所

回数	授業計画
1	循環器系の解剖・生理学 慢性心不全①（今村）
2	慢性心不全②（今村）
3	慢性心不全③（今村）
4	循環器理学療法の評価「リスク層別化」（今村）
5	循環器理学療法の評価「リスク層別化」（今村）
6	循環器理学療法の実際（今村）
7	循環器理学療法の実際（今村）
8	運動はなぜ必要なのか？ インターバルトレーニング 循環器疾患患者の社会復帰（今村）
9	心電図の診かた（大渡）
10	心電図の診かた（大渡）
11	虚血性心疾患の病態・検査と治療（大渡）
12	虚血性心疾患の病態・検査と治療（大渡）
13	心臓弁膜症と大動脈疾患の病態・検査と治療（大渡）
14	心臓弁膜症と大動脈疾患の病態・検査と治療（大渡）
15	心臓弁膜症と大動脈疾患の病態・検査と治療（大渡）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	各論理学療法区				担当者名	中山 大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	代謝機能の特徴・基礎にはじまり、理学療法を行う上での注意事項、実際の理学療法の進め方、運動療法の実際を学習する。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	中山大貴（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	理学療法講座 内部障害理学療法学	高橋 哲也	医歯薬出版
参考図書	病気がみえる③ 糖尿病・代謝・内分泌 第5版	医療情報科学研究所	医療情報科学研究所

回数	授 業 計 画
1	1. エネルギー代謝と栄養-1) 身体活動に必要なエネルギー源
2	2) エネルギー供給系とは 3) 運動時間とエネルギー供給系の関係4) ATP産生の原料となる栄養基質と代謝
3	5) エネルギー代謝の測定方法 6) 基礎代謝とは 7) 運動と栄養代謝 8) 脂質の働き 9) タンパク質の働き
4	2. 運動耐容能とその評価-1) 運動耐容能とは 2) 運動時のエネルギー代謝
5	3) エネルギー供給のための酸素運搬 4) 酸素摂取量を尺度とした運動耐容能の評価 5) 運動耐容能の評価法
6	6) 酸素摂取量を用いた運動処方 7) 心肺運動療法負荷試験によって得られる指標の意義
7	3. 糖尿病の病態・検査と治療-1) 日本での糖尿病の疫学 2) 糖尿病の病態と分類
8	3. 糖尿病の病態 3) 糖尿病の診断 4) 糖尿病の治療 6) その他の糖尿病
9	4. 糖尿病の合併症と治療-1) 糖尿病合併症とは
10	2) 急性合併症 3) 慢性合併症
11	4) 1・2型糖尿病で増えている糖尿病昏睡 5) 高血糖による細胞障害とポリオール経路の関係
12	5. 糖尿病に対する理学療法の実際-1
13	糖尿病における運動療法の位置づけ 2) 糖尿病患者における運動療法の効果
14	3) 運動療法の適応と禁忌 4) 運動療法の種類と方法
15	5) 糖尿病治療における理学療法士の役割 6) 糖尿病は自己管理が基本！ 7) 糖尿病の治療をサポートする専門職および組織

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	総合理学療法				担当者名	松田 大輔、清水 圭悟					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2	2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									120		
授業概要	理学療法についての知識・技能の学習の総決算である臨床実習に向けての準備として、評価・治療計画・治療という一連の理学療法・作業療法過程を演習及び実技という形で実施。また、その際に必要な記録・報告ができるよう準備する。また、医療専門職として責任ある態度・行動を取れるようになることを目的とする。										
成績評価	評価の基準：臨床実習に向けて情意・認知面が整っていること。 評価の方法：臨床実習に向けてチェックシートや臨床経験報告書を活用して評価する。										
その他	松田大輔、清水圭悟（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床実習指導要綱		
参考図書			

回数	授業計画
1	保険・医療・福祉領域における理学療法士の役割と責任について
2	理学療法士としての義務、倫理について
3	理学療法士としての学識、技術、態度について
4	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施①
5	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施②
6	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施③
7	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施④
8	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑤
9	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑥
10	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑦
11	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑧
12	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑨
13	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑩
14	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑪
15	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑫
16	仮想事例を提示した臨床推論①

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	総合理学療法				担当者名	松田 大輔、清水 圭悟					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2	2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									120		

回数	授 業 計 画
17	仮想事例を提示した臨床推論②
18	仮想事例を提示した臨床推論③
19	仮想事例を提示した臨床推論④
20	仮想事例を提示した臨床推論⑤
21	グループワークでの臨床推論の発表及びディスカッション①
22	グループワークでの臨床推論の発表及びディスカッション②
23	グループワークでの臨床推論の発表及びディスカッション③
24	グループワークでの臨床推論の発表及びディスカッション④
25	グループワークでの臨床推論の発表及びディスカッション⑤
26	文献抄読、レポート作成、レジュメ作成の方法①
27	文献抄読、レポート作成、レジュメ作成の方法②
28	文献抄読、レポート作成、レジュメ作成の方法③
29	文献抄読、レポート作成、レジュメ作成の方法④
30	文献抄読、レポート作成、レジュメ作成の方法⑤
31	仮想事例の治療に対する臨床推論①
32	仮想事例の治療に対する臨床推論②
33	仮想事例の治療に対する臨床推論③
34	仮想事例の治療に対する臨床推論④
35	仮想事例の治療に対する臨床推論⑤
36	仮想事例の治療に対する臨床推論⑥
37	仮想事例の治療に対する臨床推論⑦
38	仮想事例の治療に対する臨床推論⑧
39	仮想事例の治療に対する臨床推論⑨
40	仮想事例の治療に対する臨床推論⑩

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	総合理学療法				担当者名	松田 大輔、清水 圭悟					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
	単位数	2	2			前期	後期	前期	後期	前期	後期
				授業時間数				120			

回数	授 業 計 画
41	仮想事例の治療に対する臨床推論⑪
42	仮想事例の治療に対する臨床推論⑫
43	仮想事例の治療に対する臨床推論⑬
44	仮想事例の治療に対する臨床推論⑭
45	仮想事例の治療に対する臨床推論⑮
46	仮想事例に対する治療の実施①（ワークショップ）
47	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
48	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
49	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
50	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
51	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
52	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
53	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
54	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
55	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
56	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
57	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
58	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
59	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）
60	仮想事例に対する治療の実施（ワークショップ）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和 3年度	PT学科						
授業科目名	基礎医学演習			担当者名	今村 啓太、永野 忍						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60
授業概要	これまでの学習してきた知識（基礎医学）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	今村啓太、永野忍（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2021専門基礎分野基礎医学	医歯薬出版編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	植物機能 循環器
2	植物機能 消化器 泌尿器
3	植物機能 体温と代謝 呼吸器
4	植物機能 内分泌器
5	植物機能 自律神経 その他
6	動物機能 末梢神経
7	動物機能 中枢神経
8	動物機能 神経生理
9	動物機能 筋 伝導路
10	動物機能 感覚 細胞 その他
11	運動機能学 筋
12	運動機能学 基礎運動学
13	運動機能学 体表解剖 関節 骨
14	運動機能学 バイオメカニクス 運動学習
15	人間発達学 発達月齢 反射・反応

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校 PT学科						
					令和 3年度						
授業科目名	臨床医学演習				担当者名	今村 啓太、永野 忍					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60
授業概要	これまでに学習してきた知識（臨床医学）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	今村啓太、永野忍（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2021専門基礎分野臨床医学	白石泰夫	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	病理学 薬理学 復習
2	病理学 感染症 復習
3	病理学 腫瘍 復習
4	病理学 アレルギー 復習
5	病理学 その他 復習
6	内科学 循環器疾患 消化器疾患 呼吸器疾患 復習
7	内科学 高齢者疾患 脳性麻痺 代謝性疾患 その他 復習
8	老年医学 復習
9	小児科学 復習
10	整形外科学 復習
11	神経内科学 復習
12	臨床心理学 復習
13	精神医学 復習
14	リハビリテーション医学 復習
15	リハビリテーション概論 復習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校 令和 3年度 PT学科						
	基礎理学療法演習				担当者名		今村 啓太、永野 忍				
授業科目名	基礎理学療法演習				担当者名		今村 啓太、永野 忍				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60
授業概要	これまでに学習してきた知識（基礎理学療法）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	今村啓太、永野忍（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2021基礎PT学	医歯薬出版編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	基礎理学療法学 臨床運動学
2	基礎理学療法学 基調
3	基礎理学療法学 法律・制度 その他
4	理学療法評価学 徒手筋力テスト
5	理学療法評価学 関節可動域検査
6	理学療法評価学 整形外科テスト
7	理学療法評価学 バランス機能
8	理学療法評価学 運動系評価
9	理学療法評価学 発達検査
10	理学療法評価学 日常生活活動検査 その他
11	理学療法治療学 補装具療法
12	理学療法治療学 補装具療法
13	理学療法治療学 運動療法
14	理学療法治療学 物理療法
15	理学療法治療学 運動学習・住環境整備

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和 3年度	PT学科						
授業科目名	臨床理学療法演習			担当者名	今村 啓太、永野 忍						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1	1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60
授業概要	これまでに学習してきた知識（臨床理学療法）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	今村啓太、永野忍（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2021障害別PT	医歯薬出版編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	理学療法治療学 中枢神経障害（脳血管障害）
2	理学療法治療学 中枢神経障害（脊髄損傷）
3	理学療法治療学 中枢神経障害（パーキンソン病）
4	理学療法治療学 中枢神経障害（その他）
5	理学療法治療学 内部障害（循環器障害）
6	理学療法治療学 内部障害（呼吸器障害）
7	理学療法治療学 内部障害（代謝障害 その他）
8	理学療法治療学 骨関節障害（上肢・下肢・体幹の骨関節障害）
9	理学療法治療学 骨関節障害（関節リウマチ・靭帯損傷・切断・スポーツ外傷・その他）
10	理学療法治療学 神経筋障害
11	理学療法治療学 発達障害
12	理学療法治療学
13	理学療法治療学 その他の障害
14	地域理学療法学
15	臨床実習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校						
					令和 3年度	PT学科					
授業科目名	地域理学療法学				担当者名	靱井 剛士					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	地域を基盤として行われる理学療法士による専門的支援の知識・技術について習得する。家庭訪問による訪問リハビリテーションサービスや、施設における入所、通所リハビリテーションサービスに携わる理学療法士に必要な知識・技術・実施方法を学ぶ。地域理学療法を实践する専門家としての基本的姿勢・態度についても習得する。										
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。										
その他	靱井剛士（病院作業療法科において作業療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	標準理学療法学 専門分野 地域理学療法学		医学書院
参考図書			

回数	授業計画
1	地域リハビリテーションとは
2	地域リハビリテーション活動の基本
3	在宅リハビリテーションと病院内リハビリテーションの考え方
4	地域リハビリテーション活動の時代的流れ
5	制度にみられる地域リハビリテーション
6	機能訓練事業の今後と展開
7	介護保険法と介護予防
8	介護予防の手法とリハビリテーション医療
9	【中間試験】 退院後のリハビリテーション
10	尊厳あるケアの確立に向けて
11	介護期・終末期のリハビリテーション
12	地域リハビリテーションに関わること
13	諸外国の地域リハビリテーション
14	これからの地域リハビリテーション
15	地域包括ケアシステムについて

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校 令和 3年度 PT学科						
						担当者名		中山 大貴			
授業科目名	見学実習				担当者名		中山 大貴				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							40				
授業概要	地域理学療法の場合での経験を通して、地域包括ケアシステム（特に、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション）における理学療法士の役割を理解し、地域包括ケアシステムに関する関連専門職の役割を理解する。										
成績評価	見学実習前後の評価及び臨床実習指導者の評価などで総合的に判断する。										
その他	中山大貴（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	なし		
参考図書			

回数	授業計画
1	通所・訪問リハビリテーション施設における理学療法士の役割りと機能① （対象者（障害者及び高齢者）に対する理学療法士における実践の見学）
2	通所・訪問リハビリテーション施設における理学療法士の役割りと機能② （対象者（障害者及び高齢者）に対する理学療法士における実践の見学）
3	通所・訪問リハビリテーション施設における理学療法士の役割りと機能③ （対象者（障害者及び高齢者）に対する理学療法士における実践の見学）
4	通所・訪問リハビリテーション施設における理学療法士の役割りと機能④ （対象者（障害者及び高齢者）に対する理学療法士における実践の見学）
5	対象者とのコミュニケーション技術について①
6	対象者とのコミュニケーション技術について②
7	対象者とのコミュニケーション技術について③
8	対象者とのコミュニケーション技術について④
9	地域における通所・訪問リハビリテーションの役割り① 対象者のニーズの把握
10	地域における通所・訪問リハビリテーションの役割り② 対象者のニーズの把握
11	地域における通所・訪問リハビリテーションの役割り③ 対象者のニーズの把握
12	地域における通所・訪問リハビリテーションの役割り④ 対象者のニーズの把握
13	対象者との関わり（理学療法士としての関わりの実践）①
14	対象者との関わり（理学療法士としての関わりの実践）②
15	対象者との関わり（理学療法士としての関わりの実践）③
16	対象者との関わり（理学療法士としての関わりの実践）④

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和 3年度	PT学科						
授業科目名	評価実習				担当者名	松田 大輔					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			4	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								160			
授業概要	2年次までに学んだ理学療法・作業療法の検査を適切に実施でき、その結果の解釈を中心に、実習指導者の指導を仰ぎながら実際の患者にそれを応用し、実際の知識技術として体得する。また、検査測定技術のみにとらわれすぎることなく、評価を通して、全体としての患者像を理解できるようにする。										
成績評価	評価の基準：見学実習に必要な資質や知識，マナーを身につける。 評価の方法：臨床実習指導者の評価などで総合的に判断する。										
その他	松田大輔（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	実習指導要綱参照
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
					○	令和 3年度		PT学科			
授業科目名	総合臨床実習					担当者名		今村 啓太			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				18	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										720	
授業概要	理学療法・作業療法についての知識・技能の学習の総決算として、実習指導者の指導のもとにこれら を応用し、評価・治療計画・治療という一連の理学療法・作業療法過程を実施し、ならびにそのた めに必要な記録・報告ができるようにする。また、理学療法・作業療法部門の管理・運営に関する基本 的事項についての自分の意見を持ち、医療専門職として責任ある態度・行動を取れるようになること を目的とする。										
成績評価	評価の基準：見学実習に必要な資質や知識，マナーを身につける。 評価の方法：臨床実習指導者の評価などで総合的に判断する。										
その他	今村啓太（病院理学療法科において理学療法士として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	臨床実習指導要綱参照
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	